

赤い羽根福祉基金 2026 年度助成事業

助成先団体活動概要



赤い羽根
福祉基金

社会福祉法人 中央共同募金会

目 次

新規助成先団体

助成 番号	団体名	助成事業名	ページ
26B-1	特定非営利活動法人 地域生活支援ネットワークサロン	逆境体験で傷つき孤立している人が、自分らしく所属し語れる オンライン居場所活動のモデルづくり	5
26B-2	特定非営利活動法人 Mother's Tree Japan	日本人家庭も外国ルーツ家庭も安心して出産、子育てができる 拠点「みんなの実家」モデル事業	
26B-3	社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会	子どもが創る“孤立も差別もない”『ごちゃまぜ地域拠点』創出 プロジェクト	6
26B-4	みえ・女性子ども応援ネットワーク	はざまコーディネーター育成と小規模社会的養護モデル構築 事業～誰も取りこぼさない支援モデルを全国へ～	
26B-5	特定非営利活動法人 HATI JAPAN 多文化多言語の子ども発達支援	多文化・多世代が共に育つ「居場所」を地域に築き、「共創型 オープンフレームモデル」普及の基盤を作る活動	7
26B-6	一般社団法人 日本カーシェアリング協会	生活困窮者の移動・就労・自立を一体的に支える「生活お助 けカーリース」モデルの全国展開と制度化推進事業	
26B-7	特定非営利活動法人 Chance For All	平時と災害時をつなぐ「あそび×防災」地域モデル構築事業	8
26B-8	特定非営利活動法人 滋賀県社会就労事業振興センター	農福商連携で行う地域循環の仕組みを活用したプラットホー ム型まちづくり～BIWAKO VEGE BASE(びわこベジベース)～	

継続助成先団体(2年目)

助成 番号	団体名	助成事業名	ページ
25B-1	特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ	中高生向け LGBTQ 教育プログラムを、地方のセンターにも広げ、地方の LGBTQ の孤独・孤立を防ぐ活動	9
25B-2	特定非営利活動法人 未来 ISSEY	長期入院・療養中の高校生の学びを止めないための協力体制構築事業	
25B-3	一般社団法人 Life is	重症児者とその家族及び地域住民がともに過ごし、互いにエンパワメントし合える多機能型複合施設事業	10
25B-4	認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ	すべての子が学ぶ機会を得られる未来を紡ぐ教室を多様な主体の協力とネットワーキングで作り出す事業	
25B-5	特定非営利活動法人 Wisa	不登校・ひきこもりのテレワーク就業推進のためのメタバース開発とデジタル・ユースワーク	11
25B-6	特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター	家族関係が悪く学業継続が困難になっている学生に対し、生活の場を提供し学業継続を支援するための活動	
25B-7	特定非営利活動法人 じっくらあと	災害復興期を生きる子どもたちへの包括的支援に向けた「出張ラボ」活動及びモデルづくり	12
25B-8	特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク	子育てのスタートを地域のつながりで支え合い、ママの元気をチャージする産後デイスティ事業	

継続助成団体(3年目)

重点助成「生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成」

助成番号	団体名	助成事業名	ページ
24A-1	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち	少年院での、プロの芸術家による表現ワークショップを通じた、 生きづらさを抱える若者のための心のケアと自立支援事業	13
24A-2	社会福祉法人 巢立ち会	思春期・青年期の若者に対するシームレスな支援体制構築 事業	
24A-3	特定非営利活動法人 パノラマ	働く不安の強いひきこもりや、サポートを必要とする高校生のため の支援付き無料職業紹介バイターン普及事業	14

一般助成

助成番号	団体名	助成事業名	ページ
24B-2	認定特定非営利活動法人 キッズドア	子どもの貧困問題の根本的な解決のための実践的研究と情報発信	14
24B-3	一般社団法人 びじっと・離婚と子ども問題支援センター	多くの子どもが親子交流支援を受けられるための、小規模親子交流支援団体のサポート体制構築事業	15
24B-4	特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	児童養護施設等で暮らす子ども達・退所者の為に施設と企業が連携し地域で就労を支援する体制整備の全国展開	
24B-5	特定非営利活動法人 ひだまり創	要支援・要介護高齢者や認知症高齢者が持つ技術をつなぐ、 地域単位でのマッチング支援の仕組みづくり活動	16
24B-6	認定特定非営利活動法人 LivEquality HUB	公的支援からこぼれる母子家庭のハイリスク層転落防止に重点を置いた、住まいを起点とした地域基盤構築活動	
24B-7	特定非営利活動法人 アイキャン	住民主体の多文化共生地域福祉の推進と先進的な事例を波及させる手法開発のための実践研究	17



赤い羽根
福祉基金

赤い羽根福祉基金 2026 年度事業助成 助成先団体

助成番号	26B-1	
団体名	特定非営利活動法人 地域生活支援ネットワークサロン(北海道)	
団体 HP	https://n-salon.org/	
助成事業名	逆境体験で傷つき孤立している人が、自分らしく所属し語れるオンライン居場所活動のモデルづくり	
助成決定額	650 万円	
団体の目的と事業内容	障がい児の親の会活動を前身として、様々な困難を他人事ではなく自分の問題として感じる生活当事者がつながり、地域における生活支援体制を整備し、地域福祉に寄与することを目的として設立。障害福祉サービスや児童福祉サービス、生活困窮者自立支援事業のほか、自殺防止対策事業や居場所開設事業を行う。	
助成事業概要	こども参画型オンライン居場所開発事業として、サイト「生きづ LABO」を運営している。逆境体験をもつ当事者がサイトにつながり、社会参加することで人への信頼や自信を獲得し、リアルな居場所や支援につながることを目的とする。また、サイトの運営と居場所活動の本質を理論化することでモデルケースとして確立し、逆境体験者への理解促進やネットワークの拡大に努める。	

助成番号	26B-2	
団体名	特定非営利活動法人 Mother's Tree Japan(東京都)	
団体 HP	https://mothers-tree-japan.org/	
助成事業名	日本人家庭も外国ルーツ家庭も安心して出産、子育てができる拠点「みんなの実家」モデル事業	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	日本に暮らす外国人ママの産前産後・子育てを、その文化・風習・宗教に寄り添ってサポートすること及び多文化共生子育てを社会を目指して設立。多言語(主に 8 言語)での母親サロン(対面・オンライン)、相談・同行支援、助産師・小児科医による多言語での LINE 相談などの直接支援の他、日本人ママとの多文化共生子育てイベント等を通じて、日本と外国ルーツママの架け橋的な役割を担う。	
助成事業概要	妊娠期から乳児期の外国ルーツ家庭が直面する「言語・文化・制度理解の壁による孤立」や「安心して子育てを共有できる場の欠如」という課題、及び日本人家庭が抱える画一的な理想の子育ての重圧や孤立に対して、UR空き家を活用した常設の“地域の実家”拠点を開設し、多言語・多文化サポートによる子育て支援を行う。子育てを通じて多文化に触れ、安心して育ちあう多文化共生型の子育て支援モデルの構築を目指す。	

助成番号	26B-3	
団体名	社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会(大阪府)	
団体 HP	https://www.hannanshi-shakyo.jp/	
助成事業名	子どもが創る“孤立も差別もない”『ごちゃまぜ地域拠点』創出プロジェクト	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	阪南市における社会福祉事業やその他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助、社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業を行う。	
助成事業概要	当社協と子育て支援を行う子どもNPOはらっばが協働し、子ども自身が創り出す「孤立・差別をなくす地域」を目指して、子どもが主体的に生み出す「直接的支援活動」と、それらを継続的に支える「地域基盤づくり」を展開する。地域の団体、住民、産業が子どもと協働することで、多分野を超えたネットワークが形成され、多様な特性をもつ子どもと大人が自然に混ざり合う“ごちゃまぜ実践モデル”として全国に展開できるしくみづくりを目指す。	

助成番号	26B-4	
団体名	みえ・女性子ども応援ネットワーク(三重県)	
団体 HP	なし	
助成事業名	はざまコーディネーター育成と小規模社会的養護モデル構築事業～誰も取りこぼさない支援モデルを全国へ	
助成決定額	520 万円	
団体の目的と事業内容	三重県内で女性・子ども・若者支援に取り組むNPOなど市民団体のネットワークをつくと共に、超党派女性議員を中心に連携し、共に活動することで、地域の声をしくみへ繋げ、安心して女性・子どもが暮らし、子育てができる社会を構築することを目的として設立。現場の実践知と公的制度資源をつなぐ“協働プラットフォーム”として、地域全体の支援力の向上や子どもたちの幸せな自立の支援を目指し、ネットワーク構築や NPO 現場での視察・課題調査、社会への啓発活動などを行う。	
助成事業概要	本事業では経済・家庭・学習・住居・心理・言語等の複合的困難を抱え、制度につながりにくい方々、特に不登校、DV・虐待、外国籍等により支援が途切れやすい層を支援につなげるため「はざまコーディネーター(つながり支援員)の育成」と「小規模社会的養護の受け皿づくり」を行う。これらにより、支援対象者を早期に発見し、行政・学校・福祉等が連携する横断的な支援体制を構築する。	

助成番号	26B-5	
団体名	特定非営利活動法人 HATI JAPAN 多文化多言語の子ども発達支援(東京都)	
団体 HP	https://hatijapan.or.jp/saginomiya/	
助成事業名	多文化・多世代が共に育つ「居場所」を地域に築き、「共創型オープンフレームモデル」普及の基盤を作る活動	
助成決定額	600 万円	
団体の目的と事業内容	外国ルーツの子ども、多文化多言語環境に育つ子どもとその家族を対象とし、子どもの発達状況を包括的・専門的に理解して、ひとりひとりに合った発達支援や学習支援、日本語指導を行っていくことを目的に設立。外国ルーツの子どもと保護者への支援や発達支援に関わる施設・専門家に対する助言・情報提供等を行う。	
助成事業概要	多文化家庭の増加や社会的孤立、不登校・ひきこもりなどの地域社会の支援ニーズが多様化・複合化し、既存の支援につながりにくく、孤立が生じやすくなっているという課題がある。これらの課題解決に向けて、多文化・多世代の方々が立ち寄れる小規模常設型インクルーシブ居場所の立ち上げと、地域住民への調査や支援者研修、地域協議体における協議体制構築を通じて、地域に根差した「共創型オープンフレームモデル(鷺宮いんくるモデル)」を形成し、全国で応用可能な普及基盤を築く。	

助成番号	26B-6	
団体名	一般社団法人 日本カーシェアリング協会(宮城県)	
団体 HP	https://www.japan-csa.org/	
助成事業名	生活困窮者の移動・就労・自立を一体的に支える「生活お助けカーリース」モデルの全国展開と制度化推進事業	
助成決定額	717 万円	
団体の目的と事業内容	東日本大震災後の宮城県石巻市で設立され、寄付車を募り、仮設住宅に届け、住民間で車の共同利用を促す支援から活動が始まった。寄付車を活用した持続可能な共助の社会を創ることを目的に、(1)カーシェアリングで楽しみながら支え合う地域を作る「コミュニティ・カーシェアリング事業」(2)車を貸し出すことで地域と人を元気にする「ソーシャル・カーサポート事業」(3)災害の時に車で困らない地域を作る「モビリティ・レジリエンス事業」を行う。	
助成事業概要	生活困窮により自家用車を失い、就労・通院・子どもの送迎などが困難になっているにもかかわらず、既存制度では移動手段の確保が十分に支えられていないという課題に対して、寄付車を活用した低価格リース「生活お助けカーリース」事業を行う。佐賀支部で確立した自立相談支援機関等との連携により、「移動支援×家計支援×就労支援」を組み合わせた伴走型モデルの標準化を目指す。	

助成番号	26B-7	
団体名	特定非営利活動法人 Chance For All(東京都)	
団体 HP	https://chance-for-all.org	
助成事業名	時と災害時をつなぐ「あそび×防災」地域モデル構築事業	
助成決定額	995 万円	
団体の目的と事業内容	<p>「生まれ育った環境に関わらず、すべての子どもがしあわせに生きられる社会の実現」を目指し、地域とつながりながら、子どもが安心して過ごせる居場所や多様な体験の機会を提供する。東京都足立区・墨田区を拠点に、7 校舎の学童保育を運営。年間 1 万人以上の子どもが訪れる 150 人の大学生ボランティアが運営する駄菓子屋、あそび大学など地域イベントなどを通じて、子どもが安心して過ごせる居場所を提供している。</p>	
助成事業概要	<p>プレイヤーというモビリティを活用したアウトリーチ型支援を基軸に、平時には「こどものあそび」を、災害時には「こどものケア」を担えるフェーズフリーな支援体制を構築する。能登半島地震における長期支援や牧之原竜巻被害での地域伴走の経験をもとに、「行政主導モデル」と「地域活動主体モデル」を2～3地域で実践し、地域の既存の子育て支援者や防災実践者を巻き込みながら、あそび視点を持つ担い手の発掘・育成・仮説検証を行う。</p>	

助成番号	26B-8	
団体名	特定非営利活動法人 滋賀県社会就労事業振興センター(滋賀県)	
団体 HP	https://hataraku-shiga.net/	
助成事業名	農福商連携で行う地域循環の仕組みを活用したプラットフォーム型まちづくり ～BIWAKO VEGETABLE BASE(びわこベジベース)～	
助成決定額	654 万円	
団体の目的と事業内容	<p>誰もが働くことで経済的に自立し、しあわせを感じることができる社会を目指し、福祉や雇用施策だけでなく、地域活性の視点を持ち、障害者の「雇用を創る」「雇用につなげる」ことを目的として、滋賀県社会就労事業振興センターや就労継続支援 B 型・日中一時支援事業等を行う。</p>	
助成事業概要	<p>農業者の高齢化や地域の担い手不足等の課題を解決するため、農福商連携で地域循環型のしくみづくりを目指す。ニーズ調査→協働基盤整備→担い手育成を伴う横断型イベント→共同ブランド化→販路安定化という一連の流れによって、障害のある方や引きこもりの方々等が地域の担い手となり、地域の農福商を核としつつ、多様な主体が集約されるプラットフォームが形成され、他地域でも導入可能な全国的モデルへ発展させる。</p>	



赤い羽根福祉基金 継続助成先団体(2年目)

助成番号	25B-1	
団体名	特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ(大阪府)	
団体 HP	https://nijirodiversity.jp/	
助成事業名	中高生向け LGBTQ 教育プログラムを、地方のセンターにも広げ、地方の LGBTQ の孤独・孤立を防ぐ活動	
助成決定額	947 万円	
団体の目的と事業内容	LGBTQ 等の性的マイノリティとその家族、アライ(同盟者・支援者)の尊厳と権利を守り、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献するために、データ・事実・地域での実践を蓄積し、広く情報発信して、ビジネス活動・公共政策・法律を変えていくことをミッションに、常設の LGBTQ センター「プライドセンター大阪」の運営や LGBTQ に関する社会教育や調査研究、リソースサイト NIJI BRIDGE の運営などを実施している。	
助成事業概要	「地方の LGBTQ の孤独・孤立」と「地方で LGBTQ に関して学べる場所がない」という課題に対して、プライドセンター大阪での中高生向け教育プログラムの改善を図るとともに、地方の LGBTQ センターでも同様のプログラムができるようになることを目指す。その結果、地方の LGBTQ センターの持続可能な運営を支え、次世代への社会教育を通じて LGBTQ が孤立せずに生きることができる社会の基盤をつくる。	

助成番号	25B-2	
団体名	特定非営利活動法人 未来 ISSEY(香川県)	
団体 H	https://www.miraiissey.com	
助成事業名	長期入院・療養中の高校生の学びを止めないための協力体制構築事業	
助成決定額	464 万円	
団体の目的と事業内容	香川県において病弱児とその家族が希望をもって生活でき、将来その子どもたちが社会で活躍する環境を創ることを目的に、県内の各機関が連携し、病弱児を孤立させない・学びが途絶えない支援体制を根付かせることをミッションとする。入院中の子どもたちに向けたイベントの実施や、病室で授業を受けられるような学習ロボットの貸し出し事業、ボランティアを中心とした学習支援等をはじめ、社会に向けて病弱児に関する冊子の配布や啓発イベント等を実施している。	
助成事業概要	病気療養中の高校生が在籍校で休学や退学を余儀なくされる課題に対して、セミナーの開催、啓発活動、支援者ミーティング、当事者アンケート調査を通じ、行政や教育機関、支援者との連携を強化し、各地域で協賛団体を募ることで継続的な支援と協力体制の強化を図る。これにより、対象者が必要とする際にスムーズな学校復学や心のサポートを受けられる環境を整え、病気を抱える高校生が学び続けられる社会の実現を目指す。	

助成番号	25B-3	
団体名	一般社団法人 Life is(東京都)	
団体 HP	https://lifeis-llc.com/	
助成事業名	重症児者とその家族及び地域住民がともに過ごし、互いにエンパワメントしあえる多機能型複合施設事業	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	「日常生活の景色を多様にする」をビジョンに掲げ、重症児者とそのご家族が自然な形で地域の中で対等な市民として生活し続けられるような取り組みを行う。2023 年グッドデザイン賞受賞の「+laugh」(多摩市)という事業所に駄菓子屋やフリースペースを併設する形で、福祉事業書を地域に開き、多くの人との出会いを生み出している。また、重症児の母親が働きたくても働けないという課題解決のために、「Laugh Kitchen」というカフェを運営し、重症児の母親を雇用している。	
助成事業概要	医療的ケア児者やその家族及び、家庭内に何かしらの課題を抱えている地域住民に対して、医療型特定短期入所及び家庭生活を維持していくために自分自身をエンパワメントするための一時的な休憩所に加え、地域住民同士が緩やかに繋がり合うコミュニティダイニングと、自分の時間に没頭できる私設図書館が併設した多機能型複合施設を通じて新たなコミュニティづくりや地域住民の QOL 向上につなげる。	

助成番号	25B-4	
団体名	認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・commons(茨城県)	
団体 HP	https://www.npocommons.org/	
助成事業名	すべての子が学ぶ機会を得られる未来を紡ぐ教室を多様な主体の協力とネットワークで作り出す事業	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	茨城県域での市民活動に関する相談支援、NPO 等の活動基盤づくりに関する運動に取り組む。生活困窮者、被災者、外国籍住民など、生きづらさを感じている人々への相談、就労、居住に関する支援や外国ルーツの子どもの保育、教育、キャリア支援事業を実施。緊急一時支援施設での要支援者の受け入れや、制度外福祉の創造を通じて、世の中になくサービスを課題の当事者と共に作り出し、支援のネットワークづくりに取り組む。	
助成事業概要	茨城県において在留資格や宗教的背景、来日年齢により小中高での教育が受けられない、または入れても退学してしまう子どもが多い現状に対して、地域の市民ボランティアたちの横のネットワークをつくと共に、多文化ソーシャルワークの担い手を地域に増やし、県内の学習支援団体、教育行政、外国籍コミュニティが課題を共有し、3 者の協力によって適切な教育の機会、新たな教育の場をつくり、誰もが日本で学ぶ権利と社会の一員となる権利を保障する地域を目指す。	

助成番号	25B-5	
団体名	特定非営利活動法人 Wisa(大阪府)	
団体 HP	https://wakamono-isa.com/	
助成事業名	不登校・ひきこもりのテレワーク就業推進のためのメタバース開発とデジタル・ユースワーク	
助成決定額	357 万円	
団体の目的と事業内容	2009 年より、『「違い」を価値観に変える』という理念のもと、不登校・ひきこもり等の若者の孤立防止と社会参加を目的として、テレワーク(ICT)を活用したボランティアや就業支援の機会創出に取り組む。Wisa では、若者の自立/自律目標を「自律型キャリア開発」に置き、主体的にボランティアに取り組むデジタル・ユースワークを普及している。	
助成事業概要	不登校・ひきこもり状態の青少年が増加し、その家族の多くが孤立し悩みを抱え将来に不安を感じていることを課題として、一般的な通学・就職と異なる進路を取ろうとしている青少年とその親を対象に、テレワークを活用した自営型の就業支援に特化したオンライン教育プラットフォーム(以下、メタバース)を創造する。	

助成番号	25B-6	
団体名	特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター(北海道)	
団体 HP	http://www.cmtwork.net	
助成事業名	家族関係が悪く学業継続が困難になっている学生に対し、生活の場を提供し学業継続を支援するための活動	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	子どもから高齢者までを対象に、生活・仕事・活動(あそび・スポーツ・芸術文化)にかかわるプログラム提供をとおして共生コミュニティの再創のための課題に対する調査研究や人材育成を進め、すべての人が共に豊かに生きることのできる社会の形成を目的とする。生活困窮者自立支援制度の基づく各種事業の運営、新たな住宅セーフティネット制度に基づく居住支援法人の活動、市民活動プラザの管理運営、子育て・親育て支援に取り組む。	
助成事業概要	家族関係が悪く、避難が必要な学生に対して、緊急避難場所、学生向けシェアハウス等、安定的な住まいの確保の支援や学業継続に向けた支援を行うと共に、学生支援ネットワークの構築を目指す。また、札幌市、大都市において学校関係者や学生等にヒアリング調査やアンケート調査を行い、家族関係が悪く学業継続が困難になっている学生の状況を明らかにし、現状の課題・必要な支援策等を報告書にまとめ政策提言する。	

助成番号	25B-7	
団体名	特定非営利活動法人 じっくらあと(石川県)	
団体 HP	https://www.instagram.com/wajima.teen.lab/	
助成事業名	災害復興期を生きる子どもたちへの包括的支援に向けた「出張ラボ」活動及びモデルづくり	
助成決定額	317 万円	
団体の目的と事業内容	地域で育つ子どもたちに対して、一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくり、多様な学びや生き方に触れる経験、ごちゃまぜまるごとの支え合いを行い、日々の生活への些細な期待を感じる心や、将来の自分を主体的に考える心を育むことができる地域を子どもたちと共に実現することを目的とする。石川県輪島市で、わじまティーンラボ(10 代の子どもたちの居場所)や子ども相談窓口、生きる力を育む授業(講演授業やワークショップ)等の活動に取り組む。	
助成事業概要	令和 6 年能登半島地震及び奥能登豪雨により甚大な被害を受けた石川県輪島市において、従来からの超少子高齢化地域での生活課題に加えて、震災に起因する様々な困難下におかれる子どもたちに対し、学校医等の多職種のケアワーカー及び地域住民が、「出張ラボ」として、学校へアウトリーチを行うことを通じて、包括的・継続的な支援を届けると共に、地域で子ども・学校を応援するモデルづくりに取り組む。	

助成番号	25B-8	
団体名	特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク(京都府)	
団体 HP	https://www.kyotokosodate.net/	
助成事業名	子育てのスタートを地域のつながりで支え合い、ママの元気をチャージする産後デイスティ事業	
助成決定額	600 万円	
団体の目的と事業内容	乳幼児(妊婦含む)の子育て家庭が孤立することなく、より豊かに暮らせるよう、循環型の子育て相互支援社会づくりに寄与することを目的に、京都市乳幼児親子のつどいの広場の運営や 0 歳児の親子対象の「京都子育てスクール」の開催、子育て支援関連研修や子育て支援のためのファシリテーター養成講座など、子育て支援事業を実施している。	
助成事業概要	産後ママの心身の不調と孤立予防に向けて「産後デイスティ」を行政・関係機関・地域・企業が連携し、新たな資源を生みながら、母子をまんやかに地域ぐるみで育ち・支え合える環境づくりを目指す。それにより産後ママにとっては心身の不調、孤立感・不安感を緩和し、周囲の資源を活用する良さを体感することで子育てのスタートを健やかに乗り切っていく契機とし、社会資源にとっては子育てを応援することを身近に感じることで温かな地域形成を促進する契機とする。	



赤い羽根福祉基金 継続助成先団体(3年目)

助成番号	24A-1	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち(東京都)	
団体 HP	https://www.children-art.net/	
助成事業名	少年院での、プロの芸術家による表現ワークショップを通じた、生きづらさを抱える若者のための心のケアと自立支援事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	多様な価値観・考え方・身体感覚を持つ人々が共生する社会を創出するため、子どもたちとアーティストとの出会いを通じて、創造的な学び・遊びの機会を作り出すことを目的とし、公立小中学校・幼稚園・保育園・特別支援学校・児童養護施設等へのアーティスト派遣ワークショップ事業を実施する。なお、この交流は子どもたちが自身の持つ力を存分に発揮し、伸ばしていく機会となることも目指す。	
助成事業概要	少年院の、知的・発達障害、被虐待経験等のある入所者の増加による個別支援の課題に対して、表現とコミュニケーションのプロであるアーティストによる表現ワークショップを実践し、若者の表現力、創造力、自己肯定感やコミュニケーション能力等を育成する活動を通じ、心理面から自立を支援する。出院後の厳しい現実を乗り越えていく精神的な強さや、支えてくれる人たちと関係性を築いていく力を身に付け、再犯や孤立に陥らずに、将来に希望をもって生きる糧とする。	

助成番号	24A-2	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	社会福祉法人 巣立ち会(東京都)	
団体 HP	https://sudachikai.eco.to/	
助成事業名	思春期・青年期の若者に対するシームレスな支援体制構築事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	メンタルヘルスの不調を抱える若者や学習困難、集団への不適応などの生きづらさを抱えた若者が制度の壁によって支援を分断されたり、支援を受けられなかったりすることがないように、継ぎ目のない若者支援の仕組みを構築することを目的とし、教育と医療・福祉関係機関の連携や相談窓口の充実に関する事業を実施する。	
助成事業概要	不登校やひきこもりなど、生きづらさを抱え支援を必要とする若者が増加しているが、年齢の壁で支援が分断されてしまう等、制度の狭間に落ちて支援が受けられない若者が多い。そこで各分野の連携構築を促進し、また子どもから大人への移行期の大切な時期を迎える若者に居場所の提供や手厚い個別支援を継ぎ目なく提供することで、すべての若者が自分らしく生きていくための支援体制を構築する。	

助成番号	24A-3	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 パノラマ(神奈川県)	
団体 HP	https://npo-panorama.com	
助成事業名	働く不安の強いひきこもりや、サポートを必要とする高校生のための支援付き無料職業紹介バイターン普及事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	孤立・孤独やひきこもり問題に対して、ひきこもってからではなくひきこもる前の予防支援が必要であると考え、居場所提供や相談支援をはじめ、履歴書や面接不要の支援付き無料職業紹介「バイターン」を社会的孤立リスクの高い高校生やひきこもり経験者を対象に提供している。また、養育困難世帯の小中学生を対象とした放課後の居場所支援を受託運営することで、高校以前から継ぎ目のない継続支援を目指す。	
助成事業概要	若者の無給体験での仕事ぶりや人柄を雇用主が評価し、採用後も生徒・若者と雇用主双方が当法人からサポートを受けることで職場定着を図り、通常の求人には応募できない方々の雇用を生むことを成果とする。また、交通費負担の難しい生活困窮者には交通費を支給し、当法人業務を有償で手伝う一般社会手前の体験の機会も提供する。この当法人独自の就労支援「バイターン」を自団体で取り組みつつ、他団体への普及を目指す。	

助成番号	24B-2	一般助成
団体名	認定特定非営利活動法人 キッズドア(東京都)	
団体 HP	https://kidsdoor.net/	
助成事業名	子どもの貧困問題の根本的な解決のための実践的研究と情報発信	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	貧困や外国ルーツ、教育格差等によって困難な状況にある子どもや家庭を対象に各関係機関と連携しながら学習支援や居場所支援、体験活動の提供といった支援を行うことですべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現に寄与することを目的とする。子どもの貧困の解決に向け、学生から若者世代に向けた上記の支援を行うとともに、困窮する子育て家庭の保護者に対しても食糧支援・情報提供・就労支援を行っている。	
助成事業概要	これまで行ってきた調査を充実・高度化し、より詳細な分析やアカデミアと連携した研究、困窮子育て家庭の経年変化を追跡するパネル調査を実施する。この調査結果をもとに、より踏み込んだ社会課題の洗い出しと政策提言を行う。さらに、調査結果をより多くの人に知らせるため、これまでの調査実績を総括した「白書」や調査データを蓄積したアーカイブを社会に公開し、啓発のためのイベントを行う。	

助成番号	24B-3	一般助成
団体名	一般社団法人 びじっと・離婚と子ども問題支援センター(神奈川県)	
団体 HP	https://npo-visit.net/	
助成事業名	多くの子どもが親子交流支援を受けられるための、小規模親子交流支援団体のサポート体制構築事業	
助成決定額	505 万円	
団体の目的と事業内容	離婚を経て複雑な葛藤のある父母間においても別居親と適切に親子交流が継続され、離婚や別居によって一方の親と離れて暮らす子どもが精神的な健康を保ち成長できるよう、親子のサポートを行う。両親の間に介入し、日程調整や子どもの受け渡し、付き添い等を行う。また、Zoom を活用したオンラインでの交流も全国的に展開している。	
助成事業概要	全国を対象に、「面会交流(以下、親子交流という。)」支援団体の立ち上げ・運営支援を行う。日本各地に親子交流支援団体は点在するが、支援団体が存在しない地域も数多い。また、個々の団体は小さく、脆弱な体制で運営せざるをえないのが現状である。離別家庭の子どもが「全国どの地域でも」親子交流支援を継続して受けられるよう、小規模な団体であっても安心安全な支援をおこなうための事業を支えるサポート体制を構築する。	

助成番号	24B-4	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 フェアスタートサポート(神奈川県)	
団体 HP	http://fair-start.co.jp/	
助成事業名	児童養護施設等で暮らす子ども達・退所者の為に施設と企業が連携し地域で就労を支援する体制整備の全国展開	
助成決定額	800 万円	
団体の目的と事業内容	「どんな環境で育っても、全ての若者達が自分らしい“はたらく”を実現できる社会へ」を理念とし、貧困や虐待などの家庭環境を背景にもつ社会的養護施設等の子ども達が 18 歳前後で就職するまでに公平なキャリア教育とチャンスを与えられ、生き活きと活躍できる社会を創出する。就労支援を提供するほか、就職後のアフターフォローも実施する。	
助成事業概要	全国の児童養護施設・自立援助ホーム等に近隣の協力企業を紹介し双方の間に連携体制を築くサポートを行い、同時に職員向けにオンラインで就労支援勉強会を開催してノウハウの提供を行うことで、各施設が入所児童・退所者に対して就労支援を実施できる体制を整備し、退所者の早期離職率を改善し社会的養護から自立した若者達の貧困化を予防する。	

助成番号	24B-5	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 ひだまり創(岐阜県)	
団体 HP	https://hidamarisou.com/	
助成事業名	要支援・要介護高齢者や認知症高齢者が持つ技術をつなぐ、地域単位でのマッチング支援の仕組みづくり活動	
助成決定額	674 万円	
団体の目的と事業内容	介護支援の中で「長く生きて申し訳ない」「人様に迷惑をかけて情けない」という利用者の声を聴く機会が多く、支えられる側という一方的な支援ではなく支援を受けながらも得意なことでは支える側になれる仕組みづくりの必要性を認識し、介護保険内サービスを実施して生活上の課題を解決しながら介護保険外サービスにおいて高齢者によるものづくり支援や高齢者と地域のやってほしいことのマッチング支援等を行う。	
助成事業概要	現状の介護保険内サービスでは、支えられる側という一方方向しかなく、社会参加機会が失われることで、意欲の低下や ADL(日常生活動作)低下につながっている。要支援・要介護高齢者や認知症高齢者のできることと地域ニーズをマッチングする支援を地域単位でつくる活動を通し、要支援・要介護高齢者や認知症高齢者になっても「自分の能力を活かして、地域のために何かしたい」という思いを実現できる地域社会をめざす。	

助成番号	24B-6	一般助成
団体名	認定特定非営利活動法人 LivEquality HUB(愛知県)	
団体 HP	https://livequality.co.jp/hub	
助成事業名	公的支援からこぼれる母子家庭のハイリスク層転落防止に重点を置いた、住まいを起点とした地域基盤構築活動	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	安定した住まい探しに困難を抱える母子家庭の住まい確保とその後の社会的・経済的自立を目的とする。住まい探しに困難を抱えたシングルマザーの相談を受け、自立に向けた最適の環境として一定品質かつ安価な住居をマッチングして提供する住まい探し事業と、地域の支援団体や医師・弁護士等の専門家、不動産会社等が連携して、居住者の自立に向けた課題解決のための生活支援事業を実施している。	
助成事業概要	①対面・オンライン双方での継続的なアウトリーチ、②多機関連携の質を高めるための調査研究・勉強会を通じた支援体制強化、③継続的な伴走支援を実施する。その結果、ハイリスク層だけではなく、潜在的に課題を抱え、公的支援からこぼれる母子家庭のハイリスク層転落を防止する住まいを起点とした地域基盤を構築する。	

助成番号	24B-7	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 アイキャン(愛知県)	
団体 HP	https://ican.or.jp/	
助成事業名	住民主体の多文化共生地域福祉の推進と先進的な事例を波及させる手法開発のための実践研究	
助成決定額	826 万円	
団体の目的と事業内容	アイキャンな人(社会課題に対して「できること」を実践する人)を増やすことで世界中の子どもたちが享受できる平和な社会を作ることとする。事業内容として、教育機関での国際理解教育・探求学習の実施やフェアトレード商品販売促進活動、日本の課題の調査研究等を行っている。さらにフィリピンと協同し、海外研修やスタディツアー、インターンの育成を行うことで多文化共生地域福祉の実現に寄与している。	
助成事業概要	日本国内での外国人定住者の増加が今後ますます見込まれるなか、社会福祉領域における外国人支援が遅れている状況を改善するために、外国人比率が全国的に突出している岐阜県美濃加茂市をモデル地域として、外国人の支援対応ができる人材を育成する。同時に、外国人定住者を含む地域住民の主体形成と組織化を通して、誰もが主体的に地域に参加できる多文化共生地域福祉の推進を行う。	